

令和元年コスモ建築塾の取り組み

コスモ建築塾では、2級建築士製図試験の受験対策として、図面の表現や記入事項の指導を強化。部分詳細図は、予想される部分を取り上げ作図上の注意点を解説。接道は角地を含むすべての方向の出題に対して、配置やアプローチの作り方を演習するなど、バランスよい対策を指導する一方、本年度の課題の特徴を分析し、出題に対応する演習を行いました。本年度の出題に該当した項目を具体的にご紹介いたします。

事務所が上足の場合の住宅との関係

ここがポイント！

事務所が過去出題の店舗併用住宅とは異なり、上足になる可能性を予測し、住宅との動線計画の作り方、事務所住宅ともに上足の場合の「屋内で行き来する」注意ポイントを演習しました。（課題9・10・12）（模試1）

バルコニーの作り方

ここがポイント！

過去の2級建築士製図試験で出題されたことのない住宅の2階部分バルコニーが出題される可能性を予測し、バルコニー計画を演習しました。（課題9）

床レベルの管理と表示

事務所および住宅部分では、各要求室の床高の計画、管理が必要になると見込みすべての課題において床高の管理と床高の記入を徹底。床レベル計画に対する意識を高めました。

蹴上を指定された内階段

ここがポイント！

過去の出題を分析し、住宅階段の蹴上などを指定された場合の対策を演習しました（課題12）

2台の駐車スペースの作り方

事務所と住宅との駐車スペースは主に2台を置く計画を中心に演習、ほぼ全体の課題を通じて2台の駐車場の計画方法および駐車場からのアプローチの作り方を演習しました。

車椅子対応の駐車スペースの作り方

過去の出題を分析し、事務所と住宅との駐車スペースは車椅子対応幅の大きな駐車スペースがスペースの作り方やアプローチの注意点を演習しました。（課題1・3・7・8・9・10・模試2）

既存樹木の保存

ここがポイント！

事務所と住宅との過去の出題の分析から既存樹木が問題に含まれる可能性を予想し、その他の条件付き敷地とともに課題におり込み、樹木に対する建築の制限に関する注意や対策を演習しました。（課題7・9）

既存樹木を含むテラス（大型テラスや外構）

過去の出題を分析し、既存樹木がテラスなどに含まれる場合を演習。樹木がテラスなどに含まれるケースが起こることを想定できる演習をしました。（課題7）また、テラス内や樹木の周囲など、外構に椅子などが配置されるケースを想定し演習しました（課題4・5・7・9 模試2）

車椅子対応のスロープの作り方

ここがポイント！

分析からスロープの計画技術の必要性を予測し、すべての課題を通してスロープの計画を演習。また、車椅子に対する具体的対応の方法などを演習しました。（課題10他）

事務所内に必要なスペースの計画

ここがポイント！

今年度のテーマである事務所には、事務作業空間のほか、様々なスペースの要求があることを予想し演習。打ち合わせ室、休憩室、資料室、湯沸かし室（給湯室）などを出題し納まりなどを演習。今年度出題で要求されたすべての要素は演習の中で取り上げていました。

多目的便所の計画

事務所には「多目的便所」が要求される可能性が高いと予想をし、ほとんどの課題を通じて「多目的便所」の計画やスペースの作り方、図面表現を演習しました。

屋根形状に対応した立面図作成の個別指導

様々な形状の建物に対応するために、立面図や屋根伏せ図、小屋伏せ図については、プランごとに個別に指導。個人の力量に合わせた対応策を指導しました。

一方、もう少し切り込むべきであった要素も多数ありました。今後の講座の課題として、さらなる改善や対応力の向上に努めていきたいと思えます。

●さらなる対応策が必要と感じた項目

**住宅の中の家事室、2つめの居間などプラス要求室の計画
建築に大きく支障をきたすほどの位置の樹木への対策
2階屋根の変形形状バリエーションに対する対策の強化
要求室が1階でも2階でも選択できる場合の対策 など**